

令和3年度第1回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招 集 日	令和3年7月28日(水)	
開催場所	蓮田市役所 201会議室	
開催日時	開会 令和3年7月28日(水) 午前 9時00分 閉会 令和3年7月28日(水) 午前10時30分	
出席状況 (委員)	会 長 中 山 和 久	出席・欠席
	副 会 長 奥 沢 信 男	出席・欠席
	委 員 関 根 香 織	出席・欠席
	委 員 荒 木 和 之	出席・欠席
	委 員 野 田 恵美子	出席・欠席
	委 員 小 澤 はつ江	出席・欠席
	委 員 加 藤 陽 子	出席・欠席
	委 員 寺 澤 亜希子	出席・欠席
	委 員 佐 藤 茂 男	出席・欠席
	委 員 川 崎 直 美	出席・欠席
出席職員 (策定委員、 事務局)	【蓮田市総合振興計画策定委員】 市 長 中野 和信 副 市 長 新井 勉 教 育 長 西山 通夫 総合政策部長 山口 亨 総務部長 吉澤 正剛 環境経済部長 高崎 達也 健康福祉部長 猿田 孝二 都市整備部長 増田 吉郎 上下水道部長 小山 猛 会計管理者 山田 則子 蓮田駅西口行政センター長 飛田 康裕 消 防 長 新井 智 学校教育部長 増田 勝弘 生涯学習部長 新井 宏典 議会事務局長 栗原 栄 監査委員事務局長 毒島 正明 健康福祉部参事兼健康増進課長 長谷部 幸一 都市整備部参事兼道路課長 細井 満浩	【事務局】 総合政策部調整幹次長兼契約検査課長 横田 修子 総合政策部調整幹 高橋 司 政策調整課長 塚本 孝 政策調整課副主幹 齋藤 欣志 政策調整課主事 柏木 渉
傍 聴 者	3名	

<p>・資料の確認</p> <p>1 開会</p>	<p>開会宣言</p>
<p>2 委嘱式 ・委嘱書交付</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>4 市長挨拶</p>	<p>・中野蓮田市長より関根委員、荒木委員に委嘱書交付。</p> <p>(中山会長) おはようございます。 本日はお集まりいただきましてありがとうございます。 市の職員の方々には、本当にこのコロナ禍の中において、全体として非常に順調に事業を進行していただき、我々も嬉しい限りです。 本日は、任期最後の会議ということで、委員の皆様には、活発なご審議いただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>(中野市長) 皆様、おはようございます。 本日は令和3年度第1回総合振興計画審議会でございます。 中山会長さん、奥沢副会長さん、また、委員の皆様方、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 蓮田市は様々な行政実務を執り行っておりますが、総合振興計画は、全体をまとめた骨格のような位置づけのものでございます。皆様方にご審議いただきまして、素晴らしい振興計画を樹立しております。その振興計画に則って、様々な仕事を進めているところでございます。 後ほど、主な進行管理をご報告させていただきますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。 コロナ禍ですから、短時間で済まなければならない中、大変申し訳ないのですが、ワクチンの接種状況をお話しさせていただきます。 当初は、本当に手探りの状態でありましたが、5月14日から、まずは集団接種を開始し、その後個別接種を開始しました。 蓮田市の場合、75歳以上の方が約11,000人、65歳から74歳の方が約9,000人いらっしゃいます。合わせて約20,000人の65歳以上の方が、2回目の接種をだいたい済ませているところです。ワクチン接種は強制ではなく、任意ですので、そういったことを考えますと、概ね目標は達成できているのかなと思います。 現在は、50歳から64歳までの方にクーポン券を発送して、集団接種、個別接種を始めたところです。 今、陽性患者の95%が50代以下の世代だと話題になっておりますが、蓮田市は、13歳以上の方、正確には12歳の誕生日を迎えた方ですが、この年代の方々にもクーポン券を発送しております。</p>

ただし、最近ワクチンが足りないということで、国の方針が二転三転して、それを受けている自治体としては、右往左往しているところです。

いずれにしましても、コロナ禍の有効な手立てとしては、やはりワクチン接種だと思っておりますので、各部、皆で力を合わせて、努力してまいりたいと思っております。

長くなりましたが、本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

・定足数の確認

(調整幹)

これより先、「蓮田市総合振興計画審議会条例」第5条第2項の規定により、「会長は、会議を総理し、」とありますので、会長に議長になっていただき、議事進行をお願いしたいと思います。

よろしく申し上げます。

(議長)

議長の役を承りましたので、これより先、本日の議事を進行させていただきます。皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、2点確認事項がございます。

1点目は会議の成立について、2点目は傍聴の有無についてでございます。まず、会議の成立について、事務局から、ご報告申し上げます。

(調整幹)

それでは、ここで、会議の成立についてご報告申し上げます。本日は、みなさま既にご承知のとおり、委員10名全員の方のご出席をいただいておりますので、蓮田市総合振興計画審議会条例第6条第2項に規定される会議開催のための定足数に達しており、本日の会議は成立いたしますことを、ご報告申し上げます。

・傍聴者の確認

(議長)

続きまして、2点目です。

傍聴者の有無について、事務局から報告をお願いいたします。

(調整幹)

ご報告申し上げます。

本日の審議会について、傍聴を希望されている方がいらっしゃいます。

本審議会は、「蓮田市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、市政の透明性及び公正性を確保するため、原則公開での審議となっております。

ただし、取り扱う案件が蓮田市情報公開条例第7条各号に定める不開示情報に該当するとき、又は公開することにより会議の目的が達成できないおそれがあるときは非公開とすることができます。

本日は3名の方の傍聴の希望者がいらっしゃいます。

(議長)

ただいま、事務局より、傍聴者がいる旨の報告と、原則公開での審議となる旨の説明がありました。

今回、非公開にすべきと考えられる案件はないと考えておりますが、委員の皆様はいかがでしょう。

《異議無しの声》

それでは、ご異議がございませんでしたので、本日は、会議を公開で進めさせていただきたいと存じます。

事務局は傍聴者の方を入場させ、注意事項の説明をお願いします。

(調整幹)

傍聴者に、傍聴上の注意を申し上げます。

先ほど事務局からお配りいたしました、「傍聴にあたっての注意」をよく読み、遵守していただきたいと存じます。

また、「傍聴にあたっての注意」に反する行為をし、会長の指示に従わない場合には、退場していただくこともございますので、あらかじめご承知おき願います。

(議長)

ありがとうございました。会議を進めさせていただきます。

5 蓮田市
第5次総合
振興計画の
進行管理に
ついて

(議長)

これより、議事に入りたいと思います。

次第に従い、「蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について」事務局からの説明を求めます。

《事務局から資料2～4について説明》

(議長)

ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありました。

資料2では、第5次総合振興計画に掲載されている225の主要事業のうち、いくつかをピックアップして説明していただきました。資料3では、総合振興計画の施策毎に掲載されている成果指標について説明していただきました。ご意見、ご質問がありましたら、お願いしたいと思います。

なお、資料5、6の説明は時間の関係でございませんでしたけれども、質問等はしていただいて構わないとのことでしたので、何かありましたら、お願いいたします。

(副会長)

先ほど、コロナ禍の中でも、非常に蓮田市がいろいろな事業を進めているということで、貴重なお話がありましたが、実は私、非常に感心したことが最近ありましたので、質問を兼ねて、お話しさせていただこうと思います。

資料2の88ページ、主要事業140「国指定史跡黒浜貝塚整備活動事業」をお開きください。

最近、東北縄文遺跡を見てくる機会がありました。近々世界遺産になるということなのですが、東北縄文遺跡は、建造物は結構巨大なものを復元していたり、出土物も立派なものがあったりするのですが、遺跡全体としては、なんとなく、だだっ広い広場というような感じがしまして、縄文の良さが再現されているのかなと思ったら、そうでもないんですよ。

それで、帰ってきてから、うちの黒浜貝塚を改めて見たのですが、この黒浜貝塚の素晴らしさを痛感しまして、縄文を感じさせる木々があり、森があり、海があり、生活の場もあり、縄文時代を体感できるような整備が進んでいて、世界遺産よりも素晴らしいなと思ったのです。

質問内容は、整備の現状、それから、今後の予定です。また、もう1点加えまして、東北縄文遺跡はボランティアガイドが案内してくれまして、結構参考になったのですが、黒浜貝塚のガイダンスのやり方について説明していただけたらと思います。

(生涯学習部長)

それでは、黒浜貝塚につきまして、説明をさせていただきます。資料5の15ページを御覧ください。

上から3行目ですが、黒浜貝塚につきましては、平成18年に国史跡に指定されました。それからその4行下に移りまして、指定された面積は、50,183.49㎡です。

平成25年度に、黒浜貝塚整備基本構想・基本計画策定報告書を策定いたしまして、これに基づきまして、整備を行っております。

平成27年度に第1期工事を行い、令和3年度には第7期工事を行っているような状況でございます。

2,3年前から遡ってご説明しますと、令和元年度には史跡内のトイレの建築、それから、展示館内のガイダンスシステムの構築が完了しています。このトイレにつきましては、次のページの16ページの地図に記載がございます。南側にトイレが1か所ございます。

また、ガイダンスの関係でございますが、令和元年度に、文化財展示館の中に、VRのガイダンスシステムの構築をいたしました。

令和2年度においては、史跡内の園路の舗装を行いました。また、史跡内に、ガイダンスシステムであるARアプリケーションを全部で5か所設置しました。地図中一番北側の「椿山のムラ」の中に星印があるかと思いますが、この星印の場所でスマートフォンをかざしていただきますと、現状の風景の中にCGを使った住居跡等を見ることができるシステムとなっております。まだスマートフォンでは見ることができないのですが、今後スマートフォンでも見られるような形にしていく予定です。

また、南側に「宿浦のムラ」というものがございまして、そちらの中にARポイントが3か所あります。それから、西側の「縄文の海」エリアにもARポイントが1か所ございます。

以上の5か所でご案内するような形でございまして、こちらで縄文時代といったものが体験できるかと思えます。

今年度においては、園路の舗装を実施する予定でございまして、こちらが終われば、概ね完了となります。

来年度も第8期工事を予定しておりますが、できれば、今後ある程度整備が落ち着いた段階で、供用開始に向けた準備をしていきたいというふうに考えております。

なお、令和2年度までの総事業費を申し上げますと、用地取得が主となっておりますが、約26億円でございます。

整備については、「椿山のムラ」、「水辺の生活の場エリア」、「宿浦のムラ」「低地の生活の場エリア」、「縄文の海エリア」の5つのエリアに分けて進めておまして、令和4年度の完成を目指して、事業を進めているところでございます。

また、ガイダンスについては、ボランティア学芸員が約170名登録していただいているところでございます。もちろん職員が案内するというのもございますが、ボランティア学芸員による案内も増やしていきたいというふうに考えています。

(寺澤委員)

黒浜貝塚の情報発信についてなのですが、これから運営開始されるということで、今、本当にSNSでの発信力が高いので、黒浜貝塚で咲いている花や見ることのできる鳥、また、秋になると木の実などが落ちてきますので、それを使った工作物など、そういったものが常に発信されていると、蓮田市がもっと知ってもらえることになり、市外から人がくるようになるのかなと思いました。

話は変わりますが、先ほどご説明のあった資料2の50ページ「はなみずき作業所」についてです。こちらの建物が古くなったということですが、今後こういった建物にするかという計画段階で、利用者の方から

の声を聞くということはやっているのでしょうか。

建物が建ってから、「こういうふうになっていればよかったね。」という声をよく聞きますので、この建物だけにかかわらず、建築や土地を整備する際には、利用する立場の人の声を聞くことが必要だと思います。

今回、はなみずき作業所に関して、行っていることを教えてください。

(健康福祉部長)

はなみずき作業所の建て替えについてですが、昨年、基本計画の策定が終わりまして、今年度、詳細設計を実施しているところでございます。

基本計画策定におきましては、はなみずき作業所を運営しております社会福祉協議会と利用者のご家族の方等々からご意見をいただいて、計画を立てたところでございます。

計画を策定する際には、複合的な施設にしたいということで、一緒に検討したのですが、調整区域にあるということで制限がございまして、最終的な計画としましては、利用者のご家族等が集まって情報共有できるような施設を造ることとなりました。

なお、構造としては、今のところ、軽量鉄骨造りの平屋建てを計画しているところでございます。

(野田委員)

自己紹介の際に、子育て支援を30年近く行ってきたと申し上げましたけれども、資料2の30ページ41番『西口行政センター「プレックスキッズ」子育てひろばの運営について委託により実施します。』のこの文章の中で、「ホームスタート事業を含めた子育て家庭へのサポートを強化します」とあります。

昨年度の資料では、「NPO法人ファイブピースが行っておりましたホームスタートに対してサポートを強化します。」と記載があったのですが、今年はその旨の記載がありませんでした。

確かに委託されていることなので、市の事業の一部になっているのかもしれないけれども、ホームスタートという事業はとても大きな規模の運営している母体があって、その下部組織として、ホームスタート蓮田というものをNPO法人ファイブピースが運営しているんですね。

ですので、ちょっとこの書き方だと、市が運営するように誤解が生じてしまうと感じました。

この「サポートを強化します。」というのが、「子育て家庭へのサポートを強化します。」となっているのは当たり前なのですが、運営しているNPO法人ファイブピースに対して、何かないのかなと、そこだけちょっと気になりました。

皆さんホームスタートって、おそらくご存知ないと思うのですが、訪問支援なんですね。子育て支援施設や児童センターなどに行けない親子

とか、おじいさん、おばあさんと育てていたり、シングルのお父さんやお母さんたちが出向いていけない場合などに、ビジターというボランティアが訪問をします。利用者の方から「来てください。」と連絡を受けたら、回数に制限なく、いつでも行けるような体制で行っている事業です。お金を払って行っているファミリー・サポートのものと違って、ボランティアなんです。

この組織はボランティアでなければできない組織なので、ちょっと一言入れていただきたかったなと私は感じました。

(生涯学習部長)

ホームスタート事業の関係でございますけれども、本当にファイブピースさんにはいつもお世話になっているのに、大変失礼いたしました。言葉が抜けてしまいまして、申し訳ございませんでした。来年度以降は、訂正させていただきます。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

(野田委員)

よろしく申し上げます。頑張っております。

(佐藤委員)

今、新型コロナウイルス感染症拡大の話題でだいぶ騒がしいですが、蓮田は7月15日時点で、私が一番心配していた自宅療養が0になっております。そのため、大変蓮田市は素晴らしいと思います。

あと、もう1点。今、消費者心理が冷え込んでいますが、来年は、今より良くなると私は思っています。ですので、今年は蓮田市にも踏ん張ってもらって、消費者の皆さんがなるべく蓮田市内で買い物をしてもらうようにしていただきたいなと思っています。

蓮田市は流通の面や交通の便が大変良いので、企業の皆さんにも蓮田市に進出してもらえれば、蓮田市内も賑やかになるし、財政も豊かになると思います。

是非、これをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(環境経済部長)

ご意見ありがとうございました。

事業者の支援につきまして、令和2年度におきましては、小規模事業者等支援金事業による10万円の補助、また、家賃の支援をさせていただき事業を実施させていただきました。

今年度につきましても、事業を営む方が、例えば空気清浄機やお客様との仕切りのパーテーション等の備品を購入する際に、10万円を上限として補助する制度を実施しております。

こういった事業をはじめ、事業者支援は継続していかなければいけな

いと考えております。

また、先ほど、できるだけ市内のお店での買い物というご意見がありました。市内の経済を活性化するためにも非常に重要なことだと思っております。一人一人の需要を市内で賄えるかというのは、なかなか難しいところではございますが、機会を捉えて、呼びかけてまいりたいと考えております。

(都市整備部長)

企業の進出を促したらどうかというご意見でございますが、先ほどの資料2の99ページ、こちらをもう一度ご覧いただきたいと思っております。こちらのNo.154「産業基盤整備事業」ということで記載がございます。その中の産業団地整備課の欄を見ていただきたいのですが、今、蓮田市においては、高虫西部地区ということで、組合施行による土地区画整理で企業立地を促すという事業を進めてございます。

また、122号バイパス沿いなのですが、根金井沼地区の方で、都市計画法の規定に基づく区域指定ということで、企業立地を進めているところでございます。

こちらについては、122号バイパス、圏央道に非常に近いです。その立地条件を生かして、法律の許す範囲内で、企業立地を促しております。122号バイパス沿いに、大きな物流倉庫、それから圏央道に近い上尾久喜線沿線に同じく倉庫ができたということで、こういった進出を図っているところでございます。

高虫西部地区は、まだこれから手続きはいろいろあるので、あと数年はかかるのですが、こちらについても、コロナ禍ではありますが、粛々と進めていくという考えでございます。

(議長)

ありがとうございました。

ちょうど佐藤委員の井沼地区も今、物流センターがどんどんできて、一棟貸しの契約がすぐ決まるなんていう景気の良い話がありましたね。経済面の方から加藤委員、何かございますでしょうか。

(加藤委員)

我々蓮田青年会議所では、去年飲食店さん等を支援させていただきまして、蓮田テイクアウトプロジェクトというものを行いました。

各飲食店の皆様も頑張ってください、市の方々も様々な補助金などを考えてくださったおかげで、円滑に支援が行われているというのが伺えました。我々の団体といたしましても、支援をしてくださいというようなお声もほとんどありませんでした。

市の飲食店さん等で、少し若手の企業さんが入ってきたりしているお

話も聞いておりますので、なかなか今まで参入できなかった企業が入り、新しい展開等も行われてきているのかなというのが青年会議所としては、見えている状況です。

(関根議員)

この場をお借りして、1点だけ伺います。

資料3の6ページ。「交通安全対策の推進」について伺いたいのですが、こちら、達成度Aということで、市の取り組みの成果かなと思います。ありがとうございます。

ただ、先日千葉県八街市の通学路で、痛ましい事故が起きてしまいました。それを受けて、国でも通学路の安全対策の評価を講じるよう、いろいろ出ているところだと思いますが、千葉県八街市のように、蓮田市の名前が、そういった痛ましい事故で知れ渡ることが無いよう、今しっかりと対策を行う必要があると思います。

そういった中で、危険な箇所は早めに摘むという意味で、達成度Aに甘んじることなく、さらに安全対策を強化していただきたいなと思うところなのですが、何かそういった予定や現在行っていることがあれば教えてください。

(学校教育部長)

ご指摘ありがとうございます。

委員さんのおっしゃったように、大変痛ましい事故が起こってしまいました。飲酒運転だったということなので、そちらの方に害を感じる場所もございます。

現在、通学路の総点検を各学校にお願いをしております。

この通学の総点検につきましては、保護者の目線、教員の目線、加えて児童の目線で行うように通知をしております。

今年度は新たな視点としまして、抜け道となっていて、車のスピードが上がっているような箇所はないか、大型車が通行しているような箇所はないか。2つ目が、今まで事故は起こっていないけれども、ヒヤリハットのような箇所がないか。そして、地域からの要望等の声が上がっている場所がないかの3点が新たに通学路総点検の視点として加わっております。

点検の締め切りですが、至急やるようにというような通知がまいりまして、予定より早まり、今月いっぱい各学校から上がってくるようになっております。

今後、関係各課と調整、連携をしていきまして、対応をしていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

(環境経済部長)

交通安全対策についてでございますが、通学時の安全を確保するために、交通指導員を配置させていただいております。現在市内の17か所に指導員を配置させていただき、安全を見守っていただいております。

また、カーブミラーや通学路等にグリーンベルトを設置するなど、現場の状況を確認しながら進めさせていただいているところでございます。

安全に大きく寄与いたします信号や横断歩道は、県の公安委員会の所管ではございますが、設置の要望等がございましたら、市を通しまして、公安委員会へ要望させていただいております。

それから、令和2年度におきましては、蓮田南小学校区におきまして、区域内を通行する車両の制限速度を時速30kmに規制するゾーン30を実施しております。

ゾーン30は、これまで蓮田中央小学校区、黒浜西小学校区、そして今回の蓮田南小学校区で実施しております。

交通安全対策は、非常に重要なことと考えておりますので、今後におきましても、引き続き、進めてまいります。

(都市整備部長)

今、抜け道対策のお話でしたが、車が抜け道に回り込む原因としては、幹線道路が渋滞するということが一番大きな要因だと思います。市といたしましては、幹線道路の整備として、都市計画道路である蓮田駅西口通線に、歩道をつけた整備を進めてございます。

また、埼玉県の実業になります。旧122号、駅の付近の第一岩槻踏切から、東口黒浜線までの約190mの間に歩道を整備するというところで、現在用地買収を進めています。

それから、黒浜地内において、藤ノ木坂の交差点から新井団地の方に、抜けるところでございますが、こちらの方も、都市計画道路ですが、県の方で用地買収を進めているところでございます。

それから、東埼玉病院の中を通り抜けできるような歩道付き道路の整備も、道路課で推進しております。

こういった事業を急ぐことによって、抜け道に回り込む車を減らして、子供たちの安全というのは守れるのではないかと考えておりますので、今後も事業を推進してまいりたいと考えております。

(川崎委員)

今、ワクチン接種のために、パルシーが10月31日まで使えない状況ですが、その後、パルシーは、11月から平常に使えるようになるのでしょうか。

調整会議において、パルシーで補修工事が入るかもしれないとお話しがありましたが、その辺の計画について、教えていただけたらと思いま

す。よろしくお願いいたします。

(健康福祉部参事)

蓮田市では、集団接種をパルシー会場において、また、個別接種は現在23の市内の医療機関様において、進めているところでございます。

しかし、報道等で皆様よくご存知だと思いますが、市長のごあいさつにもありましたように、ワクチンの供給状況がここへ来て、非常に厳しい見通しでございます。

当初の計画としては、集団接種は9月末までということで、ご案内をしていたところでございますが、この状況を考えると、少なくとも10月までは、今後も引き続き、パルシーを集団接種会場として利用する方向で検討しているところでございます。

市内の医療機関様には、非常にご協力をいただきまして、個別接種の取り扱いの件数というのは、ありがたいことに増えてございます。

ただ、ワクチンの供給状況を考え合わせるところですと、押さえながら進めていくということも必要ですので、その兼ね合いとして、集団接種と個別接種で、どのように接種回数を維持していくか、現在検討しているところでございます。

パルシーをスポーツやいろいろな集まりでご利用されたい方には、非常にご不便をおかけいたしますが、現在のところで申し上げますと、引き続き、パルシーを集団接種の会場とすることも考えていただければならないというところでございます。ご理解願いたいと思います。

(生涯学習部長)

パルシーの改修の件でございますけれども、パルシーにつきましては中長期保全計画という計画を策定しておりまして、65年間、パルシーを利用していくという計画となっております。

しかし、65年間使用するにあたっては、2回の大規模改修が必要だということで、1回目の大規模改修は、建築後30年後である令和6年度ということが、計画上でございますが、決定しております。

その大規模改修に合わせて、検討会議を設置いたしまして、サブアリーナ建築を含めまして、今年度から検討を開始したところでございます。これまで2回の会議を開催いたしました。今年度中には、今後のサブアリーナ建築を含めて、方向性を決めていきたいと考えています。

(小澤委員)

孫が黒浜中学校に行っておりまして、「すごくトイレが綺麗になった。」と大喜びで帰ってきたんですね。「鏡もついているのよ。」と言うので、「一生懸命勉強しなくちゃいけないね。」と言ったのですが、子供たちにとっては、新しいトイレができるというのは、良い影響があると思いま

す。

それから、サービスエリアの件ですが、やはりコロナ禍ですので、観光客が少ないですよね。サービスエリア内に地場産の直売所がありますが、平日はやはり少ないですけど、比較的、高速道路からのお客さんよりも、市内や市外からお客さんが多いということを知っています。サービスエリアのお店側としても、それが助かっているということです。ただ、サービスエリアの場所がどこにあるかわからないというような声は聞くことがあります。

また、黒浜貝塚の件ですが、昔の話をしますとね、バブル期の頃にそこを埋め立てるといふ事業があったそうです。それで、農業委員さんかどなたかが、地権者に一軒一軒、ここは蓮田市の貴重な財産だから埋め立てしないでくれというお願いをして、今に至ったということがあるので、それを頭の片隅に置いていただけたらと思います。

(議長)

ありがとうございます。

黒浜式土器は全国的に有名なのですが、それを蓮田市民はあまり知らないんですよね。市外の人の方が、黒浜貝塚が有名と知っていて、なにしろ、人類初ぐらいの牡蠣の人工養殖を5,000年前くらい前に行っていたりとか、すごく先進的なエリアなんですよね。

今回の黒浜貝塚の整備が第一歩になってほしいなと思います。

荒木委員、新しく入られて、新任ということで、まだ蓮田市のことご存じないかもしれませんが、何かご質問あればお願いします。

(荒木委員)

はい。まず、高虫の産業団地についてですが、まだ時間がかかるかとは思いますが、私どもも企業誘致などで、お手伝いできることがあるかと思っておりますので、産業団地整備課さんと今後連携ができれば良いなと思っております。よろしくお願ひいたします。

あとは、先ほどからお話が出ている黒浜貝塚ですね。

私は出身が愛知県で、今住んでいるのは川越なので、蓮田の黒浜貝塚のことを知らなかったんですよ。

でも、話を聞くと、「世界遺産よりもこっちの方が良いのではないか」とか、「蓮田市の財産」だとか、いろいろ良いお話があるので、今日ちょっと帰りに散歩していこうかなと思うのですけれども、じゃあどうやってこれを世の人に認知してもらおうかというところで、今子供がですね、小学生と保育園児がいるのですが、保育園で遠足に行つて「すごく楽しいところがあったんだよ。」と言うので、「どこなのそれ。」と聞くと、「むさしの村」と言うのですよ。「聞いたことないなあ。」と言うと、妻が「そ

れCMでやっているよ。」と、埼玉の人は誰でも知っているぐらいの感じだったんですね。

でも、私は子供からの情報で知ったというのがあるので、例えば、世に認知してもらおう手段の1つとして、こういった公園とかは、保育園や幼稚園、小学校の遠足等で来てもらい、口コミで広がっていくような形で注目してもらうのも良いのかなと思いますので、ご検討いただけたらと思います。

(都市整備部長)

高虫西部地区の産業団地の関係でお話ございましたので、説明させていただきます。資料5の6ページをご覧くださいと思います。

高虫西部地区の産業団地は、蓮田市の北西部に位置しているところがございます。下の方に小さく地図が書いてありますが、26.3haの土地区画整理事業でございまして、工業系の土地区画整理を目指しているという状況でございます。

現在は、組合設立準備会というところを地元の皆様に立ち上げていただいて、市もそれを支援しているという状況でございます。

また、組合施行ですので、事業主体が、権利者が組織した組合になるのですが、組合の方々に測量したり、造成工事したりというのはなかなか難しいものですから、業務代行予定者として、エム・ケー株式会社が決まって事業を推進しているところでございます。

先ほどお配りしましたTBSの番組は、エム・ケー株式会社がスポンサーになっております。この会社は、関東近辺でかなり大型の開発を手がけている会社でございまして、番組の方もぜひご覧いただければと思います。

これまでの経緯は中段に書いてある通りなのですが、今後の予定としては、令和4年度末に市街化区域への編入を行い、その後、造成工事に入っていく予定となっております。

完成まで、数年が必要となる事業ではございますが、企業立地したら、蓮田市の商工会とも連携をとっていければ良いというふうに思っております。

(生涯学習部長)

先ほど、黒浜貝塚へのご案内というお話がございました。

毎年小学生については、社会科見学で文化財展示館に来館いただいているところでございますが、保育園とか幼稚園の方については、来館いただけない状況でございます。

毎年「親子ふれあい村」という市役所を使って、イベントを行っておりますが、去年はコロナ禍で、室内の利用ができないということで、この黒浜貝塚を利用して、ウォークラリーを行いました。大変好評でご

ございました。

今後につきましても、供用を開始した段階で、保育園や幼稚園の徒歩遠足等にご利用いただく等、PRをしていきたいというふうに考えております。

(副会長)

事業についてではないのですが、成果指標の方で、全体の達成状況が、減ってきているんですね。先ほど説明がありましたように、単年度の事業も結構あるので、そういったものは、コロナ禍でできなかったという理由はよく分かるのですが、来年で結構ですが、この成果指標について、積み上げていく累積の成果指標と単年度で評価される成果指標を分かるように表記するというのも必要だと思ったので、それを研究してみただけだと思います。

(総合政策部長)

ご指摘をいただきましたので、そういった指標を来年度は工夫して、もう少し分かりやすい形で表記をさせていただくように、対応させていただきたいと思います。

(議長)

ありがとうございます。

それでは、他にご質問等なければ、以上で終了させていただきたいと思います。

本日は、大変活発な意見交換をいただきまして、誠にありがとうございました。委員の皆様からのご意見等を踏まえまして、執行部はしっかりと進行管理を行っていただき、第5次総合振興計画が着実に推進できるようお願い申し上げます。

それでは、この辺で議事については終了したいと思います。進行にご協力いただきましてありがとうございました。進行を事務局の方にお返しします。

6 その他

(調整幹)

以上をもちまして、本日の予定は全て終了いたしました。6 その他」としまして、事務局から2点連絡があります。

(政策調整課長)

1点目は会議録についてです。「蓮田市附属機関等の会議の公開に関する要綱」により、会議録を作成しホームページに公開することとなりますが、作成後、委員の皆様にご確認いただき、その後に蓮田市

の行政評価として公開ということになりますのでよろしくお願いいたします。

2点目は、委員報酬です。本日の会議に出席していただきました皆様には、市議会議員を除き、市から委員報酬をお支払いいたします。事前にご指定いただきました口座に振込みをさせていただきます。

7 閉会

(調整幹)

閉会にあたりまして、奥沢副会長より、閉会の言葉、ご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

(副会長)

皆さん、大変お疲れ様でした。

コロナ禍の中、いろいろな活動が制限されている中で、着実に進めるべき事業は進めなければならないと思います。

引き続き、基本構想に盛られた全体の事業の実現を目指して、努力をお願いしたいと思います。我々もできる限り、応援をしていきたいと思っています。

本日は誠にありがとうございました。